

<p><b>全体講評：</b>                  難易度は昨年並みとしたがやや難化，分量は昨年並みであるが問題間の格差は広がったように感じる。比較的簡単な問 1，問 2 で時間を節約し，難しく感じられる問 3，時間のかかる問 4 に時間をまわすような時間配分が大切となる。                  また，各大問が小問 3 問で構成されているので，完答できなくてもしっかりと部分点は確保したい。</p>		<p><b>試験時間</b></p> <p>120 分</p>		
		<p><b>難易変化</b></p> <p>易化 / <del>昨年並</del> / 難化</p>		
		<p><b>分量変化</b></p> <p>減少 / <del>昨年並</del> / 増加</p>		
大問	区分	内容	講評	レベル
問 1	数 A	確率	題意の並べ方を丁寧に求めていけばそんなに難しくはない。計算を工夫して計算ミスをしないようにしたい。	★
問 2	数 I 数 II	図形と計量 三角関数	基本的な問題であるが解法の仕方によっては多少計算が大変か。三角関数を利用するとよい。	★
問 3	数 B	数列	本格的な漸化式の問題で誘導はついてはいるがなかなか大変。また，一般項に無理数を含むタイプなので解きづらかったことと思う。	★★
問 4	数 II	図形と方程式 微分法・積分法	理系の問 2 参照	★★
<p><b>学習指針：</b>                  極端な難問はないものの問 3，問 4 のような本格的な問題の出題もあり，難関大学が出題している標準問題の演習を重ねておきたい。また，各分野の典型的な問題はひと通り習熟しておき，解答時間の節約につなげたい。</p>			<p>※ 難易変化、並びに分量変化は対昨年比と なっています。</p> <p>※ レベル表示は次の区分になります。</p> <p>難 → ★★★★★</p> <p>やや難 → ★★★</p> <p>標準 → ★</p> <p>やや易 → (無表示)</p> <p>易 → (無表示)</p>	